

# 目次

法務およびサポート.....	6
知的財産および規制に関するご注意.....	6
法的および準拠に関する声明.....	7
供給元の適合宣言.....	7
カナダ産業省の WLAN に関する宣誓事項.....	8
重要な安全に関する情報.....	8
ユーザーへの通告 (FCC およびカナダ産業省).....	9
保証とサービス サポート.....	9
バッテリおよび充電器の保証.....	9
製造上の保証.....	9
キャパシティ保証.....	9
限定保証.....	10
MOTOROLA SOLUTIONS 通信機製品.....	10
I. この保証の対象と期間:.....	10
II. 全般的な規定.....	10
III. 州法の権利:.....	10
IV. 保証サービスを受ける方法.....	11
V. 本保証の対象とならないもの.....	11
VI. 特許およびソフトウェアに関する条件.....	11
VII. 準拠法.....	12
章 1: 最初にお読みください.....	13
1.1 ソフトウェア バージョン.....	14
章 2: 無線機のお手入れ.....	15
2.1 無線機のクリーニングと消毒.....	15
無線機のクリーニング.....	15
無線機の消毒.....	16
章 3: 無線機の概要.....	17
3.1 プログラマブル ボタン.....	18
3.1.1 プログラム可能な無線機機能.....	18
章 4: 開始する.....	20
4.1 SIM カードの挿入.....	20
4.2 バッテリの取り付け.....	20
4.3 バッテリの充電.....	20

4.4 アンテナの取り付けまたは取り外し.....	21
アンテナの取り付け.....	21
アンテナの取り外し.....	21
4.5 無線機の電源のオンまたはオフ .....	21
4.6 音量の調節.....	21
4.7 事前設定された Wi-Fi アクセス ポイント (PWAP) のアクティブ化.....	22
4.8 グループとエリア グループの選択.....	22
<b>章 5: ホーム画面の概要.....</b>	<b>24</b>
5.1 ステータス インジケーター.....	24
5.1.1 ステータス アイコン.....	24
5.1.2 バッテリ容量.....	26
5.1.3 LED インジケーター.....	27
<b>章 6: 無線機通信のタイプ.....</b>	<b>29</b>
6.1 無線機で通信を発信する.....	30
6.2 通信の受信と応答.....	30
<b>章 7: インスタント パーソナル アラート.....</b>	<b>32</b>
7.1 パーソナル アラートの送信.....	32
7.2 IPA の受信と表示.....	32
7.3 IPA ステータス リストのクリア.....	33
<b>章 8: 音声起動送信 (VOX).....</b>	<b>34</b>
8.1 VOX の有効化と無効化.....	34
VOX の有効化.....	34
VOX の無効化.....	34
8.2 VOX を使用した通信の発信.....	34
8.3 VOX による通信の受信と応答.....	35
<b>章 9: 緊急モードの操作.....</b>	<b>36</b>
9.1 緊急モードの発動.....	36
9.2 緊急モードのキャンセル.....	36
9.3 緊急アラートの受信と応答.....	37
9.4 緊急通信の受信と応答.....	37
9.5 緊急アラート リストのクリア.....	38
<b>章 10: マン ダウン (転倒警報機能).....</b>	<b>39</b>
<b>章 11: ローン ワーク.....</b>	<b>40</b>
<b>章 12: 位置情報.....</b>	<b>41</b>
12.1 位置情報のオン オフの切り替え.....	41

位置情報のオン.....	41
位置情報のオフ.....	41
<b>章 13: ノイズ抑制.....</b>	<b>42</b>
13.1 ノイズ抑制のオンとオフの切り替え.....	42
ノイズ抑制のオン.....	42
ノイズ抑制のオフ.....	43
<b>章 14: グループリストの高速スクロール.....</b>	<b>44</b>
14.1 グループリストの高速スクロールへのアクセス.....	44
<b>章 15: 連絡先.....</b>	<b>45</b>
15.1 連絡先リストへのアクセス.....	45
<b>章 16: スーパーバイザによるオーバーライド.....</b>	<b>46</b>
<b>章 17: メニュー.....</b>	<b>47</b>
17.1 メニューへのアクセス.....	48
<b>章 18: LTE回線のオンとオフの切り替え.....</b>	<b>49</b>
LTE回線のオン.....	49
LTE回線のオフ.....	49
<b>章 19: Wi-Fiのオンとオフの切り替え.....</b>	<b>50</b>
Wi-Fiのオン.....	50
Wi-Fiのオフ.....	50
<b>章 20: 作業中モードのオン オフの切り替え.....</b>	<b>51</b>
作業中モードの有効化.....	51
作業中モードの無効化.....	51
<b>章 21: 音声ガイダンスのオンとオフの切り替え.....</b>	<b>52</b>
音声ガイダンスのオン.....	52
音声ガイダンスのオフ.....	52
<b>章 22: アラートトーン(全てのビープ)のオンとオフの切り替え.....</b>	<b>53</b>
アラートトーン(全てのビープ)のオン.....	53
アラートトーン(全てのビープ)のオフ.....	53
<b>章 23: 明るさレベルの調整.....</b>	<b>54</b>
<b>章 24: Bluetooth.....</b>	<b>55</b>
24.1 Bluetoothのオンとオフの切り替え.....	55
Bluetoothのオン.....	55
Bluetoothのオフ.....	55
24.2 Bluetoothデバイスの検索と接続.....	56
24.3 Bluetoothペアリングのクリア.....	56

<b>章 25: スキャン</b> .....	<b>57</b>
25.1 スキャンのオンとオフの切り替え.....	57
スキャンのオン.....	57
スキャンのオフ.....	57
<b>章 26: スタン (機能停止)</b> .....	<b>58</b>
<b>章 27: ラジオ キル</b> .....	<b>59</b>
<b>章 28: ユーザーの無効化または一時停止</b> .....	<b>60</b>
<b>章 29: 周辺音モニタ</b> .....	<b>61</b>
<b>章 30: キーロック</b> .....	<b>62</b>
30.1 キーロックの有効化/無効化.....	62
キーロックの有効化.....	62
キーロックの無効化.....	62
<b>章 31: ミュート モードのオンとオフの切り替え</b> .....	<b>63</b>
ミュート モードのオン.....	63
ミュート モードのオフ.....	63
<b>章 32: 認定アクセサリ リスト</b> .....	<b>64</b>

# 法務およびサポート

## 知的財産および規制に関するご注意

### 著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。したがって、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明確な許可なしに、いかなる方法においても複製または複写してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、転送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

### 商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および図案化された M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下で使用されます。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

### ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは默示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

### オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下で使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープン ソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

### 欧州連合 (EU) および英国 (UK) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令および英国の WEEE 規制では、EU 諸国および英国に販売される製品（場合によってはパッケージ）に車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE 指令で規定されるとおり、この車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国と英国の顧客とエンド ユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国と英国の顧客またはエンド ユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

## 免責条項

特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイル加入者ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があることに注意してください。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2023 Motorola Solutions, Inc. 無断複写、転載を禁じます。

## 法的および準拠に関する声明

### 供給元の適合宣言

#### 供給元の適合宣言

Per FCC CFR 47 Part 2 Section 2.1077(a)



#### 責任者

名前: Motorola Solutions, Inc.

住所: 2000 Progress Pkwy, Schaumburg, IL.60196

電話番号: 1-800-927-2744

ここに以下の製品:

モデル名: **TLK 110**

が以下の規制に適合していることを宣言します。

FCC Part 15、subpart B、section 15.107(a)、15.107(d) および section 15.109(a)

#### Class B デジタル デバイス

パーソナル コンピュータの周辺機器として、このデバイスは FCC 規則の Part 15 に適合します。  
この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています。

**1** この機器は有害な干渉を発生しません。

2 この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。



注：

この機器は、テストの結果、FCC 規則の Part 15 に基づく Class B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないようにするために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こすおそれがあります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の 1 つ以上の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- 本機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に相談してください。

国別コード選択の使用状況 (WLAN デバイス)



注：国コードの選択は、米国以外のモデル用であり、すべての米国モデルでは使用できません。FCC 規制に従い、米国内で販売されているすべての Wi-Fi 製品は、米国の動作チャネルのみに固定する必要があります。

## カナダ産業省の WLAN に関する宣誓事項



注意：

- 5150 ~ 5250MHz の帯域で動作する機器は、共有チャンネルの移動体衛星システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすために屋内でのみ使用するようしてください。
- 5250 ~ 5350MHz および 5470 ~ 5725MHz の帯域の機器で許容される最大アンテナ利得は、等価等方放射電力 (EIRP) 制限に適合するものとします。
- 5752 ~ 5850MHz 帯域の機器に許容される最大アンテナ利得は、必要に応じて、ポイントツーポイントおよび非ポイントツー ポイント動作で指定される等価等方放射電力制限に準拠するものとします。
- セクション 6.2.2 (3) に規定されている等価等方放射電力の仰角マスク要件に準拠するため必要な最悪な場合の傾斜角は、明確に示すこととします。
- 高出力レーダーが、5250 ~ 5350MHz および 5650 ~ 5850MHz 帯域の第一使用者 (つまり、優先ユーザー) として割り当てられること、さらにこれらのレーダーが LE-LAN 機器への干渉や損傷を引き起こす可能性があることもご承知おきください。

## 重要な安全に関する情報



注意：

この無線機は、一般消費者の使用に対応できるように設計されています。この製品をご使用になる前に、無線機に同梱されている『電磁波エネルギー被曝および製品の安全に関するガイド』をお読みください。このガイドには、安全な使用方法、電磁波エネルギーの認識、および該当する規格や規制への準拠の制御に関する操作手順が記載されています。

*Motorola Solutions* から明示的な承認を得ないで本製品を変更した場合、無線機を操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。

日本国内では、5150～5350MHz の周波数帯で動作させる場合、5.2GHz 帯ハイ パワー データ通信システムの基地局または中継局との通信を除き、屋内での使用に限定されています。

この無線機は、カナダ産業省の規制の下に、カナダ産業省によって送信機に対して承認された最大利得(もしくはそれ以下)のアンテナを使用した場合にのみ運用できます。他のユーザーへの潜在的な電波干渉を減少させるためにアンテナの種類および利得が決められているため、等価等方放射電力(e.i.r.p.)が無線通信を確立させるために必要な上限を超えることはありません。

この無線機は、*Motorola Solutions* 承認アンテナを使用して、指定された各種アンテナの最大許容利得で、所要のアンテナインピーダンスで運用することを、カナダ産業省によって承認されています。このリストに記載されていない種類のアンテナは、当該種類に指定されている最大許容利得を超えており、このデバイスとの使用は固く禁じられています。

この無線送信機 109U-89FT7166 は、Innovation, Science and Economic Development Canada により、認定アクセサリリスト [ページ 64](#) に記載されているアンテナタイプで動作することが承認されており、最大許容利得が示されています。リストに記載されていない種類のアンテナは、リストに記載されている種類の最大許容利得を超えており、このデバイスとの使用は固く禁じられています。

## ユーザーへの通告 (FCC およびカナダ産業省)

この機器は、次の条件により、FCC 規則パート 15 およびカナダ産業省ライセンス免除 RSS に適合しています。

- この機器は有害な干渉を発生しません。
- この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。
- Motorola Solutions による明示的な承認なくして本機器に変更または改変を加えた場合、本機器を操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。

## 保証とサービス サポート

### バッテリおよび充電器の保証

#### 製造上の保証

製造上の保証では、正常な使用およびサービスにおいて発生する製造上の欠陥を保証します。

TLK 110 の各バッテリ	12 か月
----------------	-------

#### キャパシティ保証

キャパシティ保証では、保証期間中に定格キャパシティの 80% を保証します。

リチウムイオン (Li-Ion) バッテリ	12 か月
-----------------------	-------

## 限定保証

### MOTOROLA SOLUTIONS 通信機製品

#### I. この保証の対象と期間:

Motorola Solutions, Inc. (「Motorola Solutions」) は、以下に挙げる Motorola Solutions 製造の通信機製品 (「製品」) を、以下に規定されたとおり、購入日から一定期間、通常の使用およびサービスで発生する製造上の不具合に対して保証します。

携帯型無線機	1 年間
製品アクセサリ	1 年間

この保証に従って保証期間内の返品が発生した場合、Motorola Solutions はその自由裁量により、無償で製品の修理 (新品または再生部品を使用)、製品の交換 (新品または再生製品)、または製品の購入価格での返金を行います。交換した部品またはボードは、元の該当保証期間から差し引いて保証されます。製品の交換済み部品はすべて Motorola Solutions の所有となります。

この明示的な限定保証は、購入したエンド ユーザー本人に対して Motorola Solutions が適用するものであり、第三者への譲渡または移転はできません。Motorola Solutions が製造した製品に対する保証は、これがすべてです。Motorola Solutions は、その権限を持つ Motorola Solutions の責任者が書面に記載して署名した場合を除き、この保証に対する追記や変更について、一切の義務または責任を負いません。

Motorola Solutions と購入したエンド ユーザー本人との間で別途契約が発生した場合を除き、Motorola Solutions は製品の設置、メンテナンス、またはサービスを保証しません。

Motorola Solutions は、Motorola Solutions が提供したもの以外の、製品に付属し使用される周辺機器または製品の周辺機器の操作については、いかなる責任も負いません。このような機器はすべてのこの保証の適用範囲外となります。本製品が使用されるシステムにはそれぞれ独自性があるため、Motorola Solutions は、本保証の下で稼働しているシステム全体としての領域、範囲、または運用に対する責任を負わないものとします。

#### II. 全般的な規定

この保証は、製品に関する Motorola Solutions のすべての責任を規定します。Motorola Solutions の選択で行われる修理、交換、購入代金の払い戻しは、排他的な救済策です。この保証は、その他すべての明示的な保証の代替となるものです。商品性および特定の目的への適合性の保証、およびそれらに限定されない暗黙的な保証は、この限定保証の期間内に限定されます。いかなる場合も、MOTOROLA SOLUTIONS は、製品を使用できることによる損失、時間的損失、不都合、経済的損失、利益または資本の損失、または製品の使用または製品を使用できることに起因する、その他の付随的損害、特別損害、もしくは結果的損害について、法律で許される最大限の範囲において、製品の購入価格を超える損害について責任を負いません。

#### III. 州法の権利:

州によっては、偶発的または付隨的損失の除外または制限、または暗黙的保証の期間の制限を認めていない場合があるため、上記の制限または除外は適用されない場合があります。

この保証は特定の法的権利と、州によって異なるその他の権利を付与するものです。

## IV. 保証サービスを受ける方法

保証サービスを受けるには、購入の証明(購入の日付と購入品目のシリアル番号のあるもの)を提示し、送料および保険料の前払いを行ったうえで、認可された保証サービス窓口に製品を送付する必要があります。保証サービスは、認可された保証サービス窓口の1つを通じて Motorola Solutions によって提供されます。購入者が製品を購入した会社(販売店、または通信サービス プロバイダなど)に最初に連絡すると、保証サービスを滞りなく受けられます。

## V. 本保証の対象とならないもの

- 1 正常かつ通常以外の方法で本製品を使用した結果生じた欠陥または損害。
- 2 誤用、事故、水、または不注意の結果生じた欠陥または損害。
- 3 不適切なテスト、操作、メンテナンス、設置、変更、改変、または調節の結果生じた欠陥または損害。
- 4 製造上の欠陥に直接起因しないアンテナの破損または損傷。
- 5 本製品の性能に悪影響を及ぼす、または保証請求内容を検証するために Motorola Solutions が実施する本製品の標準保証検査およびテストの妨げとなるような、無許可の改変、分解、または修理(Motorola Solutions 以外が提供した機器を本製品に追加することを含むがこれに限定されない)が行われた製品。
- 6 シリアル番号が消されているか判読できない製品。
- 7 次の条件に該当する充電式バッテリ。
  - ・ セルのバッテリ カバー上のシールが破損しているか、不正な変更の証拠が見られる場合。
  - ・ 破損または欠陥が、指定された製品以外の機器またはサービスでバッテリを充電または使用したことにより生じた場合。
- 8 修理窓口までの運送費。
- 9 製品のソフトウェア/ファームウェアの不法または承認されていない改造により、Motorola Solutions が最初に製品を出荷した時点では準拠していた Motorola Solutions の公開仕様または FCC 認定レベルのとおりに機能しなくなった場合。
- 10 本製品の動作に影響を与えない、製品表面に付いた傷または他の表面的な損傷。
- 11 正常かつ通常の傷や磨耗。

## VI. 特許およびソフトウェアに関する条件

Motorola Solutions は、本製品または部品が米国特許権を侵害しているという請求に基づく範囲において、エンド ユーザーである購入者に対するいかなる訴訟でも、自ら費用を負担して抗弁します。また、Motorola Solutions は、そのような請求に基づく訴訟でエンド ユーザーである購入者に最終的に裁定された費用および損害賠償金を支払いますが、このような抗弁および支払いには、次のような条件が課されます。

- 1 該当する購入者が、該当する請求通知を書面で速やかに Motorola Solutions に通知すること。
- 2 Motorola Solutions が、そのような訴訟の弁護、および解決または和解のためのすべての交渉を独占的に管理すること。
- 3 本製品または部品が、米国特許権侵害の請求の対象となる場合、または Motorola Solutions がその可能性があると判断した場合、該当する購入者は、Motorola Solutions が、自由裁量により自ら費用を負担して、本製品または部品を使用し続ける権利を購入者のために獲得すること、本製品または部品を交換または修正して特許権侵害を解消すること、または本製品または部品の減価償却を購入者に対して認め、その返却を受け入れることを Motorola Solutions に許可すること。減価は、Motorola Solutions が規定する製品または部品の寿命年数に応じた金額となります。

Motorola Solutions は、Motorola Solutions が提供するものでないソフトウェア、装置、または機器とともに提供される製品または部品の組み合わせに基づく特許侵害の申立について、責任を負いません。また、Motorola Solutions は、製品に関連して添付または使用される、Motorola Solutions が提供するものでない周辺機器またはソフトウェアの使用について、一切の責任を負いません。上記の記載は、関連する製品または部品による特許の侵害に関する Motorola Solutions の全体的な責任について規定するものです。

米国およびその他の国の法律では、Motorola Solutions に対し、著作権で保護された Motorola Solutions 製ソフトウェアに関する一定の独占権を認めています。これには、該当する Motorola Solutions 製ソフトウェアを複製および配布する独占権などがあります。Motorola Solutions ソフトウェアは、ソフトウェアが本来同梱されている製品のみで使用できるものです。当該製品のソフトウェアは、あらゆる手段による交換、複製、配布、改変、またはその派生物を作成するための使用を禁じられています。Motorola Solutions ソフトウェアの改変、変更、複製、配布またはリバース エンジニアリングを含み、それらに限定されないその他の使用、または Motorola Solutions ソフトウェアの権利の行使は、禁止されています。Motorola Solutions の特許権または著作権のもとで、黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、ライセンスが付与されることはありません。

## VII. 準拠法

本保証は米国イリノイ州の法律に準拠します。

## 章 1

# 最初にお読みください

このユーザー ガイドでは、お住まいの地域で提供される無線機モデルの基本的な操作について説明します。

### このマニュアルで使用されている表記

本書のテキスト全体を通じて、警告、注意、および注が使用されています。これらの表記は、安全上の危険が存在すること、および注意を払うまたは注意する必要があることを強調するために使用されています。



警告：注意して守らないと負傷や死亡につながる可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注意：注意して守らないと装置が損傷する可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注：特に重要な操作手順、慣行、状態など。

### 特記事項

このガイドでは、次の特記事項を使用して特定の情報や項目を強調します。

表 1: 特記事項

例	説明
メニュー キーまたは PTT ボタン	太字は、キー、ボタン、またはソフト メニュー項目の名前を示します。
無線機に「Bluetooth オン」と表示されます。	かぎ括弧で囲まれた語句は、無線機に表示される操作項目やメッセージを示します。
<必要な ID>	クーリエ、太字、斜体、および山形括弧は、ユーザーの入力を示します。
[設定]→[トーン]→[全トーン]	太字の語とその間の矢印は、メニュー項目のナビゲーション構造を示します。

### 機能およびサービスの可用性

販売店や管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。



注：

- お使いの無線機では、マニュアルのすべての機能が使用できるわけではありません。詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

以下については、販売店またはシステム管理者にお問い合わせください。

- 各ボタンの機能は何か？
- 自分のニーズに対応するアクセサリはどれか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？
- 無線機を長く使用するための保守手段は何か？

1.1

## ソフトウェア バージョン

以下の項で説明するすべての機能は、ソフトウェアバージョン **R01.03.02** 以降でサポートされています。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

## 章 2

# 無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 2: IP 仕様

IP 仕様	説明
IP67	無線機は、15cm から 1m の深さの水に 30 分間浸水したり、2 ~ 8 時間防塵を必要とするような、悪条件の野外でも使用できます。

- 無線機が水没した場合は、無線機を振ってスピーカ グリルやマイク ポート内に入り込んでいる可能性のある水を除去してください。水が入り込むと、音声が劣化することがあります。
- バッテリ格納部の上にある無線機筐体背面にあるベント (排気弁の穴) を突かないでください。このベントには、無線機内部の圧力を均等化する働きがあります。ベントを突くと無線機への浸水口となり、無線機の防水性が損なわれることがあります。
- ベントを塞いだり、覆ったりしないでください。ラベルも貼らないでください。
- 油性物質がベントに接触しないようにしてください。
- アンテナが正しく取り付けられた無線機は最深 1 メートル (3.28 フィート)、最長 30 分の防水性能を備えています。最大限度値を超えて、アンテナなしで使用したりすると、無線機が損傷するおそれがあります。
- 無線機をクリーニングする際には、高圧ジェット スプレーを使用しないでください。水深 1 メートルの水圧を超えるので、無線機に水が浸入する場合があります。

### 2.1

## 無線機のクリーニングと消毒



注：クリーニングおよび消毒タスク中は、バッテリ カバーとダスト カバーが無線機に正しく取り付けられていることを確認してください。

### 無線機のクリーニング

前提条件: 次のアイテムがあることを確認します。

- 手袋またはその他の個人用防護具 (必要な場合)
- 洗剤
- 水
- 布巾
- 非金属の硬い短毛ブラシ
- 柔らかく、吸収性があり、糸くずの出ない布

手順:

- 1 水と洗剤を混合して 0.5% の溶液を作ります。
- 2 布巾に洗剤水溶液を染み込ませ、無線機を拭き掃除します。

- 3 非金属の硬い短毛ブラシを使用して、遊離した汚れを無線機から取り除きます。
- 4 柔らかく、吸収性があり、糸くずの出ない布を使用して溶液を拭き取り、無線機を乾かします。
- 5 コネクタ、ひび、溝の中または周辺に溶液が残っていないことを確認します。

## 無線機の消毒

前提条件: 次のアイテムがあることを確認します。

- 手袋またはその他の個人用防護具 (必要な場合)
- アルコール濃度 70% 以上の市販のイソプロピル アルコール (消毒用アルコール)
- 布巾
- 柔らかく、吸収性があり、糸くずの出ない布

手順:

- 1 布巾に消毒用アルコールを染み込ませ、無線機を拭きます。



注：

無線機に直接アルコールを塗布しないでください。

特定の化学物質とその蒸気は、プラスチックおよび金属メッキに有害な影響を及ぼす場合があります。

無線機のクリーニングや消毒に、漂白剤、溶剤、またはクリーニング スプレーを使用しないでください。

推奨されるクリーニングおよび消毒のガイドラインの詳細については、<https://youtu.be/cYjxoUNCXZo> を参照してください。

## 章 3

# 無線機の概要

この章では、無線機のボタンと既定の機能について説明します。



表 3: 無線機の概要

ラベル	名前	説明
1	緊急ボタン	緊急操作のオン/オフを切り替えます。
2	グループスクロール ロック	短押: リスト内の次のグループにスクロールします。 長押: 16 を超えるグループがある場合は、高速スクロールが有効になります。

ラベル	名前	説明
3	LED ステータス インジケーター	赤、緑、および黄の発光ダイオードが動作ステータスを示します。
4	電源ボタン	短押: メニュー モードからホーム画面に戻ります。 長押: 無線機のオンとオフを切り替えます。
5	プッシュトゥトーク (PTT) ボタン	押すか押し続けると、音声操作が実行されます。
6	メニュー/プログラマブル ボタン	短押: メニュー モードにアクセスします。  注: これは無線機の初期設定です。メニュー/プログラマブル ボタンを押すと、プログラム可能機能にアクセスするよう、無線機の設定を変更できます。 長押: プログラム可能機能にアクセスします。
7	音量アップおよび音量ダウン ボタン	音量レベルを増減します。
8	充電端子	充電用。
9	液晶ディスプレイ (LCD)	132 x 36 ディスプレイ解像度で、無線機の多くの機能に関する視覚的な情報が得られます。
10	オーディオ アクセサリ ポート	アクセサリの取り付け用。
11	USB-C ポート	充電用。

### 3.1

## プログラマブル ボタン

プログラマブル ボタンは、WAVE PTX ポータルを使用して、特定の無線機機能へのショートカットを設定できます。

ボタンを押している時間によって、プログラマブル ボタンの機能が異なります。

### 3.1.1

## プログラム可能な無線機機能

無線機の以下の機能は、販売店がプログラマブル ボタンに割り当てることができます。

 注: 次のリストには、すべてのプログラム可能な機能が記載されているわけではありません。詳細については、ポータルを参照してください。

### アラート トーン

アラート トーンのオンとオフを切り替えることができます。

### Bluetooth

Bluetooth のオン/オフを切り替えることができます。

### LTE 回線

LTE 回線のオン/オフを切り替えることができます。

### 連絡先

連絡先リストに直接アクセスできます。

**作業中モード**

作業中モードのオンとオフを切り替えることができます。

**キーロック**

ロックとロック解除を切り替えることができます。

**位置情報**

位置情報のオンとオフを切り替えることができます。

**メニュー**

メニュー機能にアクセスできます。

**ノイズ抑制**

ノイズ抑制のオンとオフを切り替えることができます。

**スキャン**

スキャンのオンとオフを切り替えることができます。

**音声ガイダンス**

音声ガイダンスのオンとオフを切り替えることができます。

**音声起動送信 (VOX)**

VOX のオンとオフを切り替えることができます。

**Wi-Fi**

Wi-Fi のオンとオフを切り替えることができます。

## 章 4

# 開始する

この章では、無線機を使用する前に準備する方法について説明します。

### 4.1

## SIM カードの挿入

前提条件: 無線機の電源を切ります。

手順:

- 1 バッテリを取り外します。
- 2 SIM カード スロット カバーを持ち上げます。
- 3 接触面を下にして、カードの切り欠きのある側を先に合わせ、SIM カードをスロットにスライドして入れます。



注：

無線機モデルが組み込み型 SIM または SIM フリーにかかわらず、指示のとおりに SIM カードを挿入できます。組み込み型 SIM 無線機モデルの無線機ラベルをはがすと、いかなる場合でも保証が無効になり、国内のタイプ承認に違反することになります。

### 4.2

## バッテリの取り付け

手順:

- 1 バッテリの端子がケース内の端子に接続するよう調整します。
  - a まず、バッテリの接続側を挿入します。
  - b バッテリをそっと押して所定の位置に収めます。
- 2 カバーを取り付けるには、所定の位置に合わせてカチッと収まるまで押します。
- 3 ラッチをロック ポジションまでスライドさせます。

### 4.3

## バッテリの充電

無線機の電源は、リチウム イオン (Li-Ion) バッテリです。

前提条件: 充電中は無線機の電源を切ることをお勧めします。

手順:

- 保証条件に準拠するため、および損傷を防ぐために、Motorola Solutions 充電器でバッテリを充電してください。
- 最適な性能を出すためには、最初にご使用になる前に新しいバッテリを 4 ~ 5 時間充電してください。

バッテリの充電は室温でするのが最適です。



注：

- 無線機の充電には、Motorola Solutions の充電器を使用することをお勧めします。
- Motorola Solutions の充電器はすべて、Motorola Solutions が認定したバッテリのみを充電できます。



警告：サード パーティ製の充電器には互換性がなく、不適切な動作を引き起こす可能性があります。

#### 4.4

## アンテナの取り付けまたは取り外し

### アンテナの取り付け

手順：

- 1 アンテナを無線機のレセプタクルにセットします。
- 2 アンテナを時計回りに回します。



注意：損傷を防ぐため、TLK 110 には承認済みアンテナのみを使用してください。

### アンテナの取り外し

手順：

- 1 アンテナを反時計回りに回します。
- 2 アンテナを無線機のアンテナ端子から取り外します。

#### 4.5

## 無線機の電源のオンまたはオフ

手順：

電源ボタンを押し続けます。

無線機がオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緑色の LED が点灯します。
- ロゴが表示され、起動後にホーム画面が表示されます。

無線機がオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「電源オフ」と表示されます。

#### 4.6

## 音量の調節

手順：

- 1 下記の操作のいずれかを実行します。

- ・ 音量レベルを上げるには、音量アップ ボタンを押します。
- ・ 音量レベルを下げるには、音量ダウン ボタンを押します。



注：

内蔵スピーカまたは有線アクセサリの最大音量レベルは 10 です。Bluetooth アクセサリが接続されている場合、最大音量は 15 になります。

#### 4.7

## 事前設定された Wi-Fi アクセス ポイント (PWAP) のアクティビ化

この機能は、無線機がポータルから設定をダウンロードするための一時的な Wi-Fi 接続を提供します。メンテナンス モードの Web サーバーを使用して手動で設定する代わりに、事前設定された Wi-Fi アクセス ポイントを使用して最初の Wi-Fi 接続を行うことができます。

前提条件:

無線機がユーザー モードで、インターネットに接続されていないことを確認します。



注：無線機に事前設定された Wi-Fi アクセス ポイント設定は次のとおりです。

SSID	パスワード
WaveRadio	RadioManagement

手順:

PWAP に接続するには、メニュー/プログラマブル ボタンと音量アップ ボタンを同時に押します。

無線機が正常に PWAP に接続されると、無線機は次のような通知を行います。

- ・ ポジティブ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイに「PWAP」と 2 秒間表示されます。

無線機は、新しく設定された Wi-Fi 設定をサーバーからダウンロードして、事前設定された Wi-Fi 設定を上書きします。



注：無線機を再起動するか、Wi-Fi が無効になると、事前設定された Wi-Fi 設定はクリアされます。

#### 4.8

## グループとエリア グループの選択

手順:

- 1 ホーム画面で、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
前または次のグループの選択	グループ スクロール ロッカーを押します。
グループリストの高速スクロール	必要なグループが表示されるまで、グループ スクロール ロッカーを押し続けます。

オプション	操作
必要なエリア グループの選択	<p><b>a</b> グループスクロール ロッカーを使用して、グループリストをスクロールしたり、リストの先頭までスクロールしたりします。</p> <p><b>b</b> エリア グループリストで、必要なエリア グループを選択します。</p> <p> <b>注：</b> グループリストをスクロールすると、エリア グループリストがアルファベット順で表示されます。 グループリストの先頭をスクロールすると、エリア グループが降順のアルファベット順で表示されます。</p>

グループおよびエリア グループリストの末尾に達し、リストの先頭に戻ると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに最初のグループが表示されます。

グループまたはエリア グループの選択に失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに直前のグループ名が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 章 5

# ホーム画面の概要



表 4: ホーム画面の概要

ラベル	名前	説明
1	ステータスバー	ステータスバーにはステータスアイコンが表示され、無線機のステータスや機能の通知を提供します。
2	文字表示部 <sup>1</sup>	グループのエラー、トランкиングのステータス、および通信状態を表示します。 次の表示パターンをサポートしています。 <ul style="list-style-type: none"><li>静止表示</li><li>スクロール表示</li><li>交互表示</li></ul>

### 5.1

## ステータス インジケーター

このセクションでは、無線機で使用されるアイコン、バッテリの容量情報、および LED インジケータについて説明します。

### 5.1.1

## ステータス アイコン

これらのアイコンはステータスバーに表示され、無線機固有の情報やステータスを示します。

アイコン	名前	説明
	LTE 信号強度	無線機は LTE ネットワークに接続しています。バーの数は、LTE ネットワークの信号の強度を表します。
	か ら へ	

<sup>1</sup> この製品には、リコーアイダストリアルソリューションズ株式会社が制作、販売するリコーアイコン Bitmap Font が搭載されています。

アイコン	名前	説明
	LTE ネットワーク接続エラー	LTE ネットワーク接続にエラーが発生しています。
	LTE ネットワーク未接続	無線機が LTE ネットワークに接続されていません。
 か ら へ	Wi-Fi ネットワーク強度	無線機は Wi-Fi ネットワークに接続しています。バーの数は、Wi-Fi ネットワークの信号の強度を表します。
	Wi-Fi ネットワーク接続エラー	Wi-Fi ネットワーク接続でエラーが発生しています。
	Wi-Fi ネットワーク未接続	無線機は Wi-Fi ネットワークに接続していません。
	SIM ステータス	SIM カードが挿入されていないか、認識されていません。
	緊急モード	無線機が緊急モードになっています。
	インスタントパーソナルアラート(IPA)	無線機はインスタントパーソナルアラート(IPA)を受信しています。
	作業中モード	無線機が通知を非表示(作業中モード)ステータスです。
	エリアグループ	エリアグループ機能が有効になっています。
	スキャン	スキャン機能が有効になっています。
	ミュート	ミュートが有効になっており、スピーカがミュートされています。
	Bluetooth	Bluetooth 機能が有効です。リモートの Bluetooth デバイスが接続されると、Bluetooth アイコンの横にドットが表示されます。
	ソフトウェアステータス	ディスプレイにチェックマークアイコンが表示されている場合、新しいソフトウェアを使用できます。ディス

アイコン	名前	説明
		プレイに下向き矢印アイコンが表示されている場合、無線機はソフトウェアをダウンロードしています。
	位置情報	位置情報が有効になり、その情報が使用可能になります。
	診断ログ ステータス	ディスプレイにチェックマークアイコンが表示されている場合、診断ログが作成されています。ディスプレイに上向き矢印が表示されている場合、無線機はログをアップロードしています。
	音声起動送信 (VOX)	音声起動送信 (VOX) 機能が有効になっています。
	マン ダウン/ローン ワーク	マン ダウン/ローン ワーカ機能が有効になっています。
	バッテリ残量	バーの本数でバッテリの残量を示します。  か ら へ
	バッテリの充電	稻妻のアイコンが表示されている時には、バッテリが充電中です。
	言語の変更	無線機は言語を切り替えています。

### 5.1.2 バッテリ容量

次の表に、無線機のバッテリ容量に関する情報を示します。LED は、無線機が充電中の場合にのみ点灯します。

表 5: バッテリ容量

アイコン	LED 表示	音声ガイダンス	説明
	● 緑色の点灯	—	バッテリ充電中
	● 赤色の点灯		充電完了
	● 緑色の点灯	「残量十分なレベル」	残量 78% ~ 100%
	● 赤色の点灯	「残量中」	残量 54% ~ 78%

アイコン	LED 表示	音声ガイダンス	説明
	●赤色の点灯	「残量中」	残量 30% ~ 54%
	●赤色の点灯	「低残量」	残量 18% ~ 30%
	●赤色の点灯	「残量がほとんどあります。」	残量 0% ~ 18%

## 5.1.3

**LED インジケータ**

LED インジケータは、無線機の操作状態を示します。

表 6: LED 表示

表示	状態
赤色の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電中は次の無線機バッテリ レベルを示します。             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 高</li> <li>- ふつう</li> <li>- 低</li> </ul> </li> </ul>
赤色の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線機が通信範囲外に移動し、ネットワーク接続を受信しませんでした。</li> <li>無線機がマン ダウン モードになっています。</li> <li>無線機がローン ワーク応答時間になっています。</li> <li>ユーザー アカウントが無効または一時停止になっています。</li> <li>バッテリ残量が非常に低下したときに、無線機のバッテリ残量を示します。</li> </ul>
黄色の点灯	無線機が緊急アラートを発動します。
黄色の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線機はアクティビティをスキャンしています。</li> <li>無線機がページングを受信しています。</li> <li>無線機が、発動またはキャンセルされた緊急アラートを受信しています。</li> <li>無線機は、受信したすべての緊急アラートまたはパーソナルアラートをリストからクリアしていません。</li> </ul>
黄色でゆっくり点滅	無線機がパーソナル アラートを受信しています。
緑色の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線機が電源オンになっています。</li> <li>無線機は送信を行っています。</li> <li>無線機の充電中に、バッテリ容量がフルであることを示します。</li> </ul>

表示	状態
	<ul style="list-style-type: none"><li>無線機が緊急グループ/個別通信になっています。</li><li>無線機が周辺音モニタを行っています。</li></ul>
緑色の点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>無線機が通信を受信しています。</li><li>無線機が通信ハング タイム (保留時間) になりました。</li><li>無線機がパーソナル アラートを送信しています。</li><li>無線機がエリアベース グループに入ります。</li><li>無線機が緊急グループ/個別通信を受信しています。</li></ul>
緑色および黄色の点滅	無線機が作業中モードです。

## 章 6

## 無線機通信のタイプ

無線機で通話を発信するには、無線機で利用可能な通信方法とシステムに応じて、いくつかの方法があります。

表 7: 無線機通信のタイプ

通信タイプ	説明
グループ通信	グループ通信は、ポイントツーマルチポイント通信操作です。相互に通信するには、無線機がグループのメンバーとして設定されている必要があります。
個別通信	個別通信とは、1台の無線機から別の1台の無線機への通信です。無線機の状態チェックを実行したあとか、あるいは直接すぐに個別通信を設定できます。
ブロードキャスト通信	ブロードキャスト通信は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通信です。 ブロードキャスト通信機能では、通信を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通信の受信者は応答できません。
エリアベースのグループ通信	無線機がある設定された地域に入ると、そのエリア内で利用可能なグループの通知を受信して表示することができます。エリアベース グループは、アルファベット順にエリアベース グループリストに追加されます。 エリアベース グループリストに追加されると、エリアベース グループ ゾーンに入る前に設定されていたグループとエリアベース グループの両方から通信を受信します。グループ チャンネルリストから、エリアベース グループリストに移動できます。エリアベース グループにいる場合、グループ番号は表示されません。 エリアベース グループにいる場合、無線機に次のような通知が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑色の LED が点滅します。</li> <li>• ディスプレイにグループのエイリアスが表示されます。</li> <li>• 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。</li> </ul> エリアベース グループから抜けると、無線機に次のような通知が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイにグループのエイリアスが表示されます。</li> <li>• 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。</li> </ul> エリア グループを抜けるときに(例: 指定された地域から外れる)通信中の場合、通信は終了せず続行されます。通信が終了すると、無線機はエリアベース グループから退出します。

## 6.1

### 無線機で通信を発信する

手順:

- 1 下記の操作のいずれかを実行します。
  - グループ通信、エリアベースのグループ通信、またはブロードキャスト通信を行うには、グループスクロール ロッカーを使用して<必要なグループ>を選択します。
  - 個別通信を行うには、メニューから【連絡先リスト】→<必要な連絡先>の順に選択します。
- 2 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。

ブロードキャスト通信の場合、ディスプレイには、3、2、1 のカウントダウンが表示されます。カウントダウンが完了する前に **PTT** ボタンを放すと、通信は開始されません。

- 3 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。



注：

待ち受け中からグループ通信を行う場合、アクティブ モード (通話進行中) の場合と比較すると、通信許可トーンの確立に多少時間がかかります。バックライトが点灯している場合、無線機はアクティブ モード (通話進行中) になっています。

受信者が別の通信中の場合、またはサーバーが同期中などの場合、**PTT** ボタンを放すまで通信禁止トーンが鳴ります。

- 4 受信するには、**PTT** ボタンを放します。



注：このステップは、ブロードキャスト通信には適用されません。

グループ通信またはエリアベースのグループ通信の場合、無線機がハング タイムになると次のように表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイにグループの名前が表示されます。

個別通信の場合、無線機がハング タイムになると次のように表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに「個別通信」と表示されます。

- 5 個別通信を終了するには、下記の操作のいずれかを実行します。

- 個別通信のハング タイムが終了するまでお待ちください。
- メニュー/プログラマブル ボタンを押し続けます。

## 6.2

### 通信の受信と応答

通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信音がスピーカから聞こえます。

- ・ グループ通信の場合、ディスプレイにはグループ番号の後に発信者のエイリアスが表示されます。
- ・ 個別通信、ブロードキャスト通信、およびエリアベースのグループ通信の場合、ディスプレイに発信者のエイリアスが表示されます。

 注：ブロードキャスト通信の場合、ユーザーは返信できません。ユーザーが返信を試みた場合、**PTT** ボタンを押すと返信禁止音が鳴ります。

手順：

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
通信への応答	<b>a</b> <b>PTT</b> ボタンを押し続けます。 <b>b</b> 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。 <b>c</b> 受信するには、 <b>PTT</b> ボタンを放します。
個別通信の拒否	メニュー/プログラマブル ボタンを押し続けます。

## 章 7

# インスタント パーソナル アラート

パーソナル アラート (IPA) は、通信中またはグループや個別通信に応答できない連絡先に送信できる通知です。

IPA を受信すると、無線機でトーンが鳴り、アイコンと送信者の名前が表示されます。

受信した IPA は IPA ステータス リストに保存され、いつでも表示および返信できます。複数の IPA を受信すると、最新の IPA がリストの一番上に表示されます。IPA ステータス リストには、最大 9 個のアラートを保存できます。

IPA は、連絡先リスト外の連絡先から受信できます。

IPA の送信者と個別通信した場合、IPA は自動的にクリアされます。

### 7.1

## パーソナル アラートの送信

手順:

- 1 メニューから、[連絡先リスト]→<必要なエイリアス>を選択します。
- 2 IPA を送信するには、メニュー/プログラマブルを長押しします。

IPA が送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「アラート送信」と表示されます。

IPA が送信されない場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「アラート エラー」と表示されます。

### 7.2

## IPA の受信と表示

待機中に IPA を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- パーソナル アラートが IPA ステータス リストに追加されます。
- トーンが鳴ります。
- パーソナル アラートがクリアされるまで、黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、[インスタント パーソナル アラート] アイコンとエイリアスが表示されます。

通信中に IPA を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- パーソナル アラートが IPA ステータス リストに追加されます。
- トーンが鳴ります。
- パーソナル アラートがクリアされるまで、黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、[インスタント パーソナル アラート] アイコンとエイリアスが表示されます。

- 通信中は、視覚的・聴覚的なインジケータは無効になっています。
- 通信後、IPA がその時点で最も優先度が高い場合は、LED インジケータが点滅します。



注：

同じ連絡先から複数の IPA を受信した場合、IPA リストには、一番上に最新の IPA が 1 つだけ表示されます。

連絡先リストに登録されていない人物から IPA を受信した場合、「？」が、エイリアスの前に表示されます。

手順：

- IPA リストを表示するには、メニューから「**IPA**」を選択します。
- 音量アップおよび音量ダウンを使用して、IPA リストをスクロールします。



注：IPA リストは、最大 9 つの IPA エントリで構成されます。

リストの最後または最初に到達すると、トーンが鳴ります。

### 7.3

## IPA ステータス リストのクリア

手順：

下記の操作のいずれかを実行します。

- 連絡先リストまたは IPA リストから、クリアする連絡先を選択し、**PTT** ボタンを押し続けて通話します。
- IPA リストの発信者から個別通信を受信した場合、**PTT** ボタンを押して応答します。
- IPA ステータス リストで、クリアする連絡先のメニュー/プログラマブル ボタンを押し続けます。
- 無線機の電源をいったん切ってから再投入して、すべての IPA をクリアします。

すべての IPA がクリアされると、無線機に次のような通知が表示されます。

- LED インジケータの点滅が停止します。
- IPA リストは表示されなくなります。

## 章 8

# 音声起動送信 (VOX)

音声起動送信 (VOX) により、プログラムされたグループでハンズフリーの音声通信ができます。VOX 対応アクセサリが音声を検出すると、無線機は事前設定された期間、自動的に送信します。

WAVE PTX ポータルで VOX の感度を変更できます。次の表は、異なる雑音レベルに適した推奨感度と、通信用アクセサリから口元までの距離を示しています。

表 8: VOX の推奨設定

雑音レベル	通信用アクセサリから口元までの距離	推奨感度レベル
中レベルから高レベルの雑音	15cm	高
雑音レベルを低く抑えます	15cm	低

無線機が Bluetooth アクセサリに接続されている場合、VOX はハンズフリーの音声起動通信を開始できません。



注：

- VOX がアクティブなときに PTT ボタンを押すと、VOX が無効になります。
- VOX は、内蔵マイク、Bluetooth アクセサリ、または有線式のスピーカー マイクをサポートしていません。VOX は、VOX 対応有線イヤホンでのみサポートされています。

### 8.1

## VOX の有効化と無効化

### VOX の有効化

手順:

- 1 メニューから [VOX] を選択します。
- 2 VOX 機能を有効にするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

### VOX の無効化

手順:

- 1 メニューから [VOX] を選択します。
- 2 VOX 機能を無効にするには、音量アップおよび音量ダウン ボタンを押します。

### 8.2

## VOX を使用した通信の発信

前提条件: 無線機を VOX 対応アクセサリに接続します。

手順:

- 1 (音声を検知するための) きっかけとなる声を発生します。
- 2 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。

無線機には次の通知が表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- 音声が検出されると、通信許可トーンが鳴ります。
- 通信を停止すると、終話トーンが鳴ります。

### 8.3

## VOX による通信の受信と応答

通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信音がスピーカから聞こえます。

前提条件: 無線機を VOX 対応アクセサリに接続します。

手順:

終話トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。

無線機には次の通知が表示されます。

- 音声が検出されると、通信許可トーンが鳴ります。
- 通信を停止すると、終話トーンが鳴ります。

## 章 9

# 緊急モードの操作

緊急アラートは、重大な状況を示すために使用されます。緊急アラートは、現在のグループで通話がある場合であっても、随時開始できます。

緊急モードでは、発信された通信はすべて緊急通信として発動されます。

### 9.1

## 緊急モードの発動

手順:

緊急モードをローカルで発動するには、【緊急】ボタンを押し続けます。

ディスプレイには、「3」「2」「1」のカウントダウンに続き、緊急トーンとともに「発動中...」メッセージが表示されます。トーンは、WAVE PTX ポータルで有効または無効にできます。カウントダウン中に [緊急] ボタンを放すと、プロセスを停止できます。



注: 認可されたユーザーまたは管理コンソールがリモートで緊急モードを発動できますが、リモートで実行した場合、カウントダウンは表示されません。

緊急モードが正常に発動されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。
- ディスプレイに「(!) 緊急」と表示されます。



注: ディスプレイで [緊急] アイコンが点滅している場合、情報画面、音量調節、緊急通信の発信、緊急モードの終了のみを表示できます。

緊急モードの発動に失敗した場合、無線機は前の画面に戻ります。

### 9.2

## 緊急モードのキャンセル

手順:

緊急モードをローカルでキャンセルするには、【緊急】ボタンを押し続けます。

ディスプレイには、「3」「2」「1」のカウントダウンに続き、緊急トーンとともに「キャンセル中...」と表示されます。トーンは、WAVE PTX ポータルで有効または無効にできます。カウントダウン中に [緊急] ボタンを放すと、プロセスを停止できます。



注:

- 認可されたユーザーまたは管理コンソールがリモートで緊急モードをキャンセルできますが、リモートで実行した場合、カウントダウンは表示されません。
- 無線機は、認可されたユーザーのみが緊急モードを終了できるように設定できます。

緊急モードが正常にキャンセルされると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。

- 前に選択されていたグループに戻ります。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

緊急モードのキャンセルが失敗すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。
- ディスプレイに「(!) 緊急」と表示されます。

### 9.3

## 緊急アラートの受信と応答

緊急アラートを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 秒間点滅します。
- ディスプレイに [緊急モード] アイコンと発信者のエイリアスが表示されます。



注：アラートは、通信の発信または受信と比較して優先度が高くなります。

キャンセルされた緊急アラートを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- すべての緊急アラートが緊急アラート リストからクリアされるまで、黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに「キャンセル中...」と表示されます。



注：アラートは、通信の発信または受信と比較して優先度が高くなります。

手順：

- メニューから [緊急アラート リスト] を選択します。
- 必要な緊急アラート エイリアスを選択するには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。
- PTT ボタンを押して通信を開始します。

### 9.4

## 緊急通信の受信と応答

緊急通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点灯します。
- グループ通信の場合、グループ名と [緊急] アイコン付きで発信者のエイリアスが表示され、(表示名が長い場合) 発信者のエイリアスは 2 秒後にスクロール表示されます。
- 個別通信の場合、ディスプレイに [緊急モード] アイコンと発信者のエイリアスが表示されます。

- 個別通信の場合、通話種別と [緊急] アイコン付きで発信者のエイリアスが表示され、(表示名が長い場合) 発信者のエイリアスは 2 秒後にスクロール表示されます。



注：緊急モードでの通信は、グループ通信および個別通信よりも優先されます。

手順：

- 緊急通信に応答するには、**PTT** ボタンを長押しします。
- 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
- 受信するには、**PTT** ボタンを放します。

#### 9.5

### 緊急アラートリストのクリア

緊急アラートリスト内の緊急アラートは、対応するキャンセル済み/緊急アラートを受信し、無線機の電源を再投入すると自動的にクリアされます。

手順：

下記の操作のいずれかを実行します。

- [緊急アラート エイリアス] でメニュー/プログラマブル ボタンを押し続けます。
- 無線機の電源をいったん切ってから再投入して、緊急アラートリストをクリアします。

すべての緊急アラートがクリアされると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 黄色の LED が消灯します。
- ステータスバーから [緊急アラートリスト] アイコンが消えます。

## 章 10

# マン ダウン (転倒警報機能)

マン ダウン機能 (以下転倒警報機能) を使用すると、危険にさらされたときに無線機から他の人に警告を出すことができます。マン ダウン プロファイルは WAVE PTX ポータルで設定できます。

無線機が指定した角度で傾いている場合、一度停止した場合、または傾いて停止している場合、警告トーンが鳴ります。事前に定義された通知タイマーの期限が切れる前にプロンプトに応答しない場合、無線機は 3 秒のカウントダウンをスキップして、自動的に緊急モードを発動します。

無線機が緊急モードを発動しないようにするには、次の方法を実行します。

- チルト アラームの場合は、無線機を垂直位置に戻す必要があります。無線機の傾斜角度検出のしきい値は、縦軸を基準として 30°、45°、または 60° に設定できます。
- 非移動アラームの場合は、無線機を移動する必要があります。しきい値は、高、中、低のいずれかに設定できます。既定値は中感度に設定されています。
- 傾斜アラームおよび非移動アラームの場合は、無線機を垂直位置に戻すか、移動する必要があります。傾斜と非移動の両方のしきい値設定は、傾斜および非移動アラームに対して有効になります。どちらのしきい値でも、マン ダウンが発動するきっかけになる場合があります。

設定されたしきい値のいずれかが、初期値のアラーム前タイマー時間 (100 秒) を一貫して超過した場合、無線機は以下の表示をします。

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が 10 秒間 (初期値のアラーム タイマー時間) 点滅します。



注：アラーム前タイマーとアラーム タイマーは、WOC ポータルを使用して 1 ~ 3,600 秒の範囲で設定できます。

## 章 11

# ローン ワーカ

ローン ワーカ機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作（ボタンの押下やグループセレクタの有効化など）がない場合に、緊急モードを発動させることができます。ローン ワーカ プロファイルは WAVE PTX ポータルで設定できます。

定義した期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声および LED インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

どのボタンを押しても、ローン ワーカ用のタイマーはリセットされます。

事前に定義された通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合、無線機は 3 秒のカウントダウンをスキップして、緊急モードを発動します。

## 章 12

# 位置情報

全地球測位システム (GNSS) は、グローバル ポジショニング システム (GPS) および GLONASS、北斗衛星導航系統、Galileo からの情報を統合して、無線機のおおよその地理的位置を判断します。

### 12.1

#### 位置情報のオン オフの切り替え

##### 位置情報のオン

手順:

- 1 メニューから **【位置情報】** を選択します。
- 2 位置情報をオンにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

位置情報が正常にオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。
- ディスプレイにレ (チェックマーク) が表示されます。

##### 位置情報のオフ

手順:

- 1 メニューから **【位置情報】** を選択します。
- 2 位置情報をオフにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

位置情報が正常にオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。
- ディスプレイに X (バツ印) が表示されます。

## 章 13

# ノイズ抑制

ノイズ抑制機能は、送信音声の明瞭度に影響する周辺ノイズの影響を低減します。

4段階のノイズ抑制レベルがあります。無線機のノイズ抑制の既定値は高です。ノイズ抑制レベルは WAVE PTX ポータルで変更できます。

次の表に、無線機のシナリオと推奨されるノイズ抑制レベルを示します。

表 9: 推奨されるノイズ抑制レベル

シナリオ	推奨されるノイズ抑制レベル
ほとんどのノイズ環境下	高 (既定値)  注： レベル 2 では、発信者側からのノイズの大部分を低減できます。発信者の音質は影響を受けません。
同じグループの 2 人のユーザーが近接しているため、受信者は音響フィードバック ループを受信します。	非常に高い
極端なノイズ状態のため、自分の声が聞こえません。	低  注： 自分の声が抑圧されないように、マイクに向かって大きな声で話す必要があります。

### 13.1

## ノイズ抑制のオンとオフの切り替え

### ノイズ抑制のオン

手順:

- 1 メニューから【オーディオ NR】を選択します。
- 2 ノイズ抑制をオンにするには、音量アップまたは音量ダウンボタンを押します。

ノイズ抑制が正常にオンになると、無線機で次のように通知されます。

- ・ 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。
- ・ ディスプレイにレ(チェックマーク)が表示されます。

## ノイズ抑制のオフ

手順:

- 1 メニューから [オーディオ NR] を選択します。
- 2 ノイズ抑制をオフにするには、音量アップまたは音量ダウンボタンを押します。

ノイズ抑制が正常にオフになると、無線機で次のように通知されます。

- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。
- ディスプレイに X (バツ印) が表示されます。

## 章 14

# グループ リストの高速スクロール

グループ リストには最大 96 のチャネルがあります。

チャネルの順序は数字順です。グループ スクロール ロッカーを押し続けると、高速スクロールを実行できます。2 番目のチャネル以降では、10 チャネルごとに高速スクロールすることができます。

例: たとえば、無線機に 93 個のチャネルがある場合、チャネル変更は、**CH 80→CH 90→CH 93→CH 1→CH 10→Ch 20** となります。

14.1

## グループ リストの高速スクロールへのアクセス

手順:

グループ スクロール ロッカーを押し続けます。

## 章 15

# 連絡先

連絡先名は英数字 30 文字以内で、これらの連絡先名がアルファベット順で表示されます。

日本語の文字は最大 16 文字まで対応し、五十音順で表示されます。

連絡先リストは、通話可能、もしくは作業中モードに設定されているユーザーを表示します。連絡先がオフラインの場合は、リストで非表示になります。



注：設定の詳細については、販売店にお問い合わせください。

### 15.1

## 連絡先リストへのアクセス

手順：

- 1 メニュー/プログラマブル ボタンを押し続けます。
- 2 連絡先リストを高速でスクロールするには、下記の操作のいずれかを実行します。
  - グループ スクロール ロッカーを押し続けます。
  - 音量アップまたは音量ダウン ボタンを押し続けます。

## 章 16

# スーパーバイザによるオーバーライド

スーパーバイザによるオーバーライドを使用すると、個別通信を除く進行中の通信にスーパーバイザが割り込んで通信を開始できます。

ユーザーが通話を受信または送信しているときに、現在進行中の通話がスーパーバイザ通話によって中断された場合、スーパーバイザ通信に対して無線機のミュートが解除され、スーパーバイザのエイリアスが表示されます。



注：設定の詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

## 章 17

# メニュー

メニューには、メニュー/プログラマブル ボタンからアクセスできます。

メニューで使用可能な機能は次のとおりです。

表 10: 機能のリスト

機能	説明
緊急アラート リスト	受信した緊急アラートを表示および削除できます。
IPA	受信したインスタント パーソナル アラートを表示および削除できます。
時間	現地時間を表示できます。無線機に SIM カードがない場合は、無線機をメンテナンス モードに設定し、メンテナンス モードの Web サーバー 192.168.100.1 で手動でタイム ゾーンを設定します
連絡先	連絡先リストにアクセスできます。
すべてのアラート トーン	すべてのアラート トーンを有効または無効にすることができます。
明るさ	無線機表示部の明るさレベルを調整できます。
音声ガイダンス	音声ガイダンスを有効または無効にすることができます。
作業中モード	無線機のモードを使用可能から [作業中モード] に変更できます。  注: 作業中モードが有効な場合、グループ通信、クイック グループ通信、または個別通信を受信できません。
スキャン	スキャン機能を有効または無効にすることができます。
位置情報	グローバル ポジショニング システム (GPS) 機能を有効または無効にすることができます。
Bluetooth	Bluetooth を有効または無効にすることができます。 Bluetooth ペアリングのステータス情報を表示できます。
Wi-Fi	Wi-Fi モデムを有効または無効にすることができます。
LTE 回線	LTE 回線を有効または無効にすることができます。
ミュート	無線機の消音と消音解除ができます。
キーロック	グループ スクロール ロックをロックし、電源ボタンおよびメニュー/プログラマブル ボタンの機能を制限できます。
VOX	VOX 機能を有効または無効にすることができます。
マン ダウン	マン ダウン機能を有効または無効にすることができます。
ローン ワーカー	ローン ワーカ機能を有効または無効にすることができます。
ノイズ抑制	ノイズ抑制機能を有効または無効にすることができます。

機能	説明
無線機名	無線機名を表示できます。
シリアル番号	シリアル番号を表示できます。

#### 17.1

### メニューへのアクセス

手順:

メニューにアクセスしてその中を移動するには、メニュー/プログラマブル ボタンを押します。

## 章 18

# LTE 回線のオンとオフの切り替え

## LTE 回線のオン

手順:

- 1 メニューから [LTE] を選択します。
- 2 LTE 回線をオンにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

LTE 回線がオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイにレ (チェックマーク) が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## LTE 回線のオフ

手順:

- 1 メニューから [LTE] を選択します。
- 2 LTE 回線をオフにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

LTE 回線がオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイに X (バツ印) が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 章 19

# Wi-Fi のオンとオフの切り替え

## Wi-Fi のオン

手順:

- 1 メニューから「Wi-Fi」を選択します。
- 2 Wi-Fi をオンにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

Wi-Fi がオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイにレ(チェックマーク)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## Wi-Fi のオフ

手順:

- 1 メニューから「Wi-Fi」を選択します。
- 2 Wi-Fi をオフにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

Wi-Fi がオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイに X(バツ印)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 章 20

# 作業中モードのオン オフの切り替え

## 作業中モードの有効化

手順:

- 1 メニューから「作業中モード」を選択します。
- 2 作業中モードをオンにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

作業中モードをオンにすると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緑と黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイにレ (チェックマーク) が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 作業中モードの無効化

手順:

- 1 メニューから「作業中モード」を選択します。
- 2 作業中モードをオフにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

作業中モードをオフにすると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイに X (バツ印) が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 章 21

# 音声ガイダンスのオンとオフの切り替え

## 音声ガイダンスのオン

手順:

- 1 メニューから「音声ガイダンス」を選択します。
- 2 音声ガイダンスをオンにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

音声ガイダンスがオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ・ ディスプレイにレ(チェックマーク)が表示されます。
- ・ 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 音声ガイダンスのオフ

手順:

- 1 メニューから「音声ガイダンス」を選択します。
- 2 音声ガイダンスをオフにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

音声ガイダンスがオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ・ ディスプレイにX(バツ印)が表示されます。
- ・ 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 章 22

# アラートトーン(全てのビープ)のオンとオフの切り替え

## アラートトーン(全てのビープ)のオン

手順:

- 1 メニューから「アラートトーン」を選択します。
- 2 アラートトーンをオンにするには、音量アップまたは音量ダウンボタンを押します。

アラートトーンが正常にオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイにレ(チェックマーク)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## アラートトーン(全てのビープ)のオフ

手順:

- 1 メニューから「アラートトーン」を選択します。
- 2 アラートトーンをオフにするには、音量アップまたは音量ダウンボタンを押します。

アラートトーンが正常にオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイにX(バツ印)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 章 23

# 明るさレベルの調整

手順:

- 1 メニューから「明るさ」を選択します。
- 2 0 ~ 8 の範囲で、希望の明るさレベルを選択します。

明るさレベルを変更したとき、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイに明るさレベルが表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。



注:

アイドル モードでは、無線機のバックライトは消灯します。電源ボタンまたはその他のボタンを押して、バックライトを点灯することができます。

## 章 24

# Bluetooth

Bluetooth 接続を介して、お使いの無線機と Bluetooth 対応アクセサリを連携できます。お使いの無線機では、Motorola Solutions 製と市販既製品の両方の Bluetooth 対応アクセサリをサポートしています。

Bluetooth は、約 10 メートルの見通し範囲内で動作します。これは、無線機と Bluetooth 対応アクセサリとの間に障害物が何もない場合の距離です。信頼性を高めるために、Motorola Solutions では無線機とアクセサリを離さないことをお勧めします。

受信可能範囲外では、音声とトーン両方が「不明瞭」または「割れて」聞こえるようになります。この問題を解決するには、無線機と Bluetooth 対応アクセサリを規定の 10 メートル以内に近づけて、明瞭な音声受信を再確立してください。無線機の Bluetooth 機能の最大出力は、2.5mW (4dBm) です。

無線機は、異なる種類の Bluetooth 対応アクセサリとの Bluetooth 接続を同時に 3 接続までサポートできます。たとえば、ヘッドセット、スキャナ、センサー デバイス、および PTT 専用デバイス (POD) です。同じ種類の複数の Bluetooth 対応アクセサリには、同時に接続できません。

Bluetooth 対応アクセサリの全機能の詳細については、個々の Bluetooth 対応アクセサリのユーザー マニュアルを参照してください。

### 24.1

## Bluetooth のオンとオフの切り替え

### Bluetooth のオン

手順:

- 1 メニューから 「Bluetooth」 を選択します。
- 2 Bluetooth をオンにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

Bluetooth をオンにすると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイにレ (チェックマーク) が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

### Bluetooth のオフ

手順:

- 1 メニューから 「Bluetooth」 を選択します。
- 2 Bluetooth をオフにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

Bluetooth をオフにすると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイに X (バツ印) が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 24.2

### Bluetooth デバイスの検索と接続

前提条件:

- Bluetooth モードがオンになっていることを確認します。
- 必要に応じて、WAVE PTX ポータルの Bluetooth アクセサリ リストを更新します。

手順:

メニューから「**Bluetooth**」を選択します。

無線機には次の通知が表示されます。

- ディスプレイに「Bluetooth サーチ中」と表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

Bluetooth デバイスが無線機に接続されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにレ(チェックマーク)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。



注:

接続した Bluetooth デバイスが通信範囲外にあるか、オフになっている場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイの表示が「Bluetooth サーチ中」に戻ります。

## 24.3

### Bluetooth ペアリングのクリア

手順:

- 1 メニューから「Bluetooth サーチ中」を選択します。
- 2 音量アップまたは音量ダウン ボタンを使用して、Bluetooth リストをスクロールします。
- 3 選択したデバイスで、メニュー/プログラマブル ボタンを押し続けてペアリングをクリアします。

リクエストが正常に行われた場合、ポジティブ トーンが鳴ります。

リクエストに失敗すると、ネガティブ トーンが鳴ります。

## 章 25

# スキャン

スキャンを使用すると、無線機はプログラムされたスキャンリスト内の複数のグループを監視して、アクティブなグループを検索できます。

スキャンモード中は、システムは低優先度のグループ通信に割り込みます。無線機が消音解除され、高優先度のグループ通信に入ります。スキャンリストから進行中の通信についてプログラムされた期間(ハングタイム)中にPTTボタンを押すと、アクティブなグループの通信を開始します。

無線機が通信中でない場合にPTTボタンを押すと、無線機は最後に選択したグループで通信を開始します。

 注：スキャンモード中に作業中モードが有効の場合、無線機は作業中モードを優先します。

### 25.1

## スキャンのオンとオフの切り替え

### スキャンのオン

手順:

- 1 メニューから【スキャン】を選択します。
- 2 スキャンをオンにするには、音量アップまたは音量ダウンボタンを押します。

スキャンをオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 黄色のLEDが点滅する。
- ディスプレイにレ(チェックマーク)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

### スキャンのオフ

手順:

- 1 メニューから【スキャン】を選択します。
- 2 スキャンをオフにするには、音量アップまたは音量ダウンボタンを押します。

スキャンをオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイにX(バツ印)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。

## 章 26

# スタン (機能停止)

スタンは、無線機が無効 (機能停止) になっていることを示します。

無線機がスタン (機能停止) モードの場合、電源、音量アップ、音量ダウンの各ボタンを除くすべてのボタンが無効になります。すべての音声アクティビティと LED 表示も無効になります。

無線機がスタン (機能停止) モードになると、無線機は次のように動作します。

- ・ マン ダウン機能が無効になります。
- ・ ローン ワーカ機能が無効になります。
- ・ スキヤン機能が無効になります。
- ・ 作業中モード機能が無効になります。
- ・ パーソナル アラート リストがクリアされます。
- ・ 緊急アラート リストがクリアされます。

電源オンの状態では、無線機に「スタン モード」と表示されます。

## 章 27

# ラジオ キル

ラジオ キルは、無線機が永久に無効になっていることを示します。

通常動作モードでは、無線機がラジオ キルのコマンドを受信すると、無線機の電源がオフになります。

コマンド受信後は、無線機のユーザー インタフェースが利用不可になり、無線機の電源をオンにできません。無線機は、Motorola Solutions によってのみ再アクティブ化できます。

詳細については、販売店にお問い合わせください。

## 章 28

# ユーザーの無効化または一時停止

ユーザーの無効化または一時停止は、アカウントが無効化または一時停止されていることを示します。アカウントが無効化または一時停止された場合は、PTT サーバーにログインできません。

アカウントは、WAVE PTX ポータルから、または承認済みユーザーが無効にできます。

アカウントが無効、または一時停止状態の場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに「ユーザー無効」と表示されます。

電源、メニュー/プログラマブル、および音量アップおよび音量ダウンの各ボタンは正常に動作します。

PTT ボタンを押すと、無線機は PTT サーバーにログインしようとします。無線機が PTT サーバーに接続できる場合は、通常のログイン画面が表示されます。接続できない場合は、[ユーザー無効] 画面に戻ります。

## 章 29

# 周辺音モニタ

周辺音モニタを使用すると、他の無線機や管理コンソールなどから、待機中のときに該当無線機の周辺音を聞くことができます。

周辺音モニタを開始すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点灯します。
- ディスプレイに「モニタ中」と表示され、発信者のエイリアスが表示されます。

通信を開始、または受信すると、周辺音モニタが停止します。

周辺音モニタが動作したときに音声起動送信 (VOX) 機能が有効になっている場合、VOX 機能は一時的に無効になり、周辺音モニタが終了した場合にのみ再度有効になります。

## 章 30

# キーロック

キーロックを使用すると、グループスクロールロッカーをロックし、電源およびメニュー/プログラマブルボタンの機能を制限できます。

### 30.1

## キーロックの有効化/無効化

### キーロックの有効化

手順:

- 1 メニューから【キーロック】を選択します。
- 2 キーロックを有効にするには、音量アップまたは音量ダウンボタンを押し続けます。

キーロックをオンにしたとき、無線機は次のように動作します。

- ・ ディスプレイにレ(チェックマーク)が表示されます。
- ・ グループスクロールロッカーがロックされます。
- ・ メニュー/プログラマブルボタンは、メニューまたはキーロックにアクセスするようにプログラムされている場合にのみ機能します。
- ・ 音量アップボタンおよび音量ダウンボタンは通常どおりに機能します。
- ・ PTTボタンと緊急ボタンは通常どおりに機能します。

### キーロックの無効化

手順:

- 1 メニューから【キーロック】を選択します。
- 2 キーロックを無効にするには、音量アップまたは音量ダウンボタンを押し続けます。

ディスプレイにX(バツ印)が表示されます。

## 章 31

# ミュート モードのオンとオフの切り替え

## ミュート モードのオン

手順:

- 1 メニューから「消音」を選択します。
- 2 ミュート モードをオンにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

ミュート モードをオンにしたとき、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイにレ(チェックマーク)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。
- 無線機は、以前に設定した音量を保存します。

## ミュート モードのオフ

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
メニューからミュート モードをオフにする	<b>a</b> メニューから「消音」を選択します。 <b>b</b> ミュート モードをオフにするには、音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。
音量アップまたは音量ダウン ボタンを使用して、ミュート モードをオフにする	音量アップまたは音量ダウン ボタンを押します。

ミュート モードをオフにしたとき、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディスプレイに X(バツ印)が表示されます。
- 音声ガイダンスにより設定されているチャンネルの案内があります。
- 無線機の音量は、以前に設定した音量に戻ります。

## 章 32

# 認定アクセサリ リスト

Motorola Solutions では、デジタル携帯型業務用無線機の生産性を向上させる次の認定済みアクセサリをご用意しています。

表 11: アンテナ関連

部品番号	説明
32012144001	アンテナ ID バンド、グレー、10 個パック
32012144002	アンテナ ID バンド、黄、10 個パック
32012144003	アンテナ ID バンド、緑、10 個パック
32012144004	アンテナ ID バンド、青、10 個パック
32012144005	アンテナ ID バンド、紫、10 個パック
HKAN4005_	アンテナ (北米)
HKAN4006	アンテナ (国際)

表 12: バッテリ

部品番号	説明
PMNN4578	リチウムイオン電池パック (2500mAh)

表 13: キャリー デバイス

部品番号	説明
PMLN6074	ナイロン製リスト ストラップ
PMLN7128	回転式ヘビーデューティー ベルト クリップ
PMLN8439	回転式ベルトクリップ付きキャリング ホルスター

表 14: 充電器・電源アダプタ

部品番号	説明
PMKN4306A	USB-C 2.0 • Micro-USB
PMLN8567A	デスクトップ マルチユニット充電器、国際電源
PMKN4294	USB-C • USB-A ケーブル (充電用)
PS000150A31	USB-A、1.5A 電源壁充電器、米国/日本
PS000150A32	USB-A、1.5A 電源壁充電器、ヨーロッパ
PS000150A33	USB-A、1.5A 電源壁充電器、英国/香港
PS000150A34	USB-A、1.5A 電源壁充電器、オーストラリア/ニュージーランド

部品番号	説明
PS000150A35	USB-A、1.5A 電源壁充電器、アルゼンチン
PS000150A37	USB-A、1.5A 電源壁充電器、韓国
PS000150A38	USB-A、1.5A 電源壁充電器、ブラジル
PS000150A39	USB-A、1.5A 電源壁充電器、インド

表 15: 小型イヤホンとイヤピース

部品番号	説明
PMLN7156	Mag One イヤホン (インラインマイク、PTT ボタン付き)
PMLN7159	調整機能付き D 型イヤピース (インラインマイク、PTT ボタン付き)
PMLN7189	回転式イヤピース (インラインマイク、PTT ボタン付き)
PMLN7157	透明チューブ付き 2 線式、黒
PMLN7158	1 線式監視用イヤピース、インラインマイクおよび PTT
PMLN8191	1 線式拡張クリアチューブ イヤピース、2.5mm シングルピン、角度付き
PMMN4127	オペレーションクリティカルワイヤレスリモートスピーカマイク WM500
PMLN7560	受信限定イヤピース (透明チューブ付き)
PMLN8123	EP910W オペレーションクリティカルワイヤレスイヤピース PTT
PMLN8298	WP300 ワイヤレス Bluetooth 制御 PTT ポッド
PMLN8077	耳かけ式イヤピース、シングルピン
PMLN8125	耳かけ式イヤピース、シングルピン、ショートコード
PMLN8190	1 線式拡張クリアチューブ イヤピース、2.5mm シングルピン、ストレート
5080384F72	交換用発泡プラグイン
RLN6282	交換用イヤチップ
RLN6242	クイック切断音響管

表 16: リモートスピーカマイク

部品番号	説明
PMMN4125B <sup>2</sup>	RM250 リモートスピーカマイク

<sup>2</sup> TLK 110 無線機には PMMN4125A を使用しないでください。

表 17: その他のアクセサリ

部品番号	説明
HKLN4690	バッテリ カバー